

そんな氏の趣味は…。

「活字を読むのは好きです。でも趣味は読書と書かないでください。トランプ大統領についての本は読みませんし（笑）ちょっと違う（笑）。例えば時代物を読むとその場所の現在を辿りたくなり、実際に行っているいろいろ考察する（笑）」

質問してから、しばらく間を置いて話し始めたのだが、この「間」が全てを物語っているようだ。おそらく氏は情報を集めることに時間を惜しまないのだろう。本もそのツール。そこで得た情報を自分で確かめ、判断を下す。「集めた情報はどう完成させるのか。手持ちのピースだけでは何にもならない。やはり人との繋がりがそこでも力を発揮する」

氏の中で核になっているのは何なのだろうか。

「信念と自信でしょうね。僕はずっと現場主義。自分の目で確かめるだけでなく、チームを信頼して現場の声に耳を傾ける。それが信念。自信は年齢と共にそのあり方が変わってくるんですが、経験豊富な年配者などとの応酬の中でも議論し、人の意見を聞き、最後は信念をもって判断する。デュボンで働くなかで、過信ではなく、信念を持った経験と判断から来る自信になりました」

意見を出し合う大切さやこれまでの経験を若い世代に伝えようと、経済同友会で教育改革委員会委員長を引き受けている。またTGA取締役会長としてベンチャー企業を支援。未来に向けてグローバルな視点での農業にも注目をしている。

週末のジム通いは17〜18年になる。ランニングマシンで汗を流しているときは何も考えていない。「全く頭の中から仕事は抜けているのはこのときだけかも（笑）」。吐血で手術した

ときに胃の神経を切ったため、空腹を感じない。だから食事は1日に2回、バランスよくしっかりと食べる。お酒は「よく飲みます」

徳島に帰る機会も多いというダンディなジェントルマンは、終始、柔和な表情を崩さなかった。

（取材・文／北島由記子 写真／永井守）

●プロフィール 天羽 稔（あもうみのる）

Office 天羽代表、TGA取締役会長、経済同友会教育改革委員会委員長、文部科学省グローバル人材育成コミュニティ協議会委員、元デュボン株式会社名誉会長。

1951年徳島県小松島市生まれ。

阿南工業高等専門学校、ワシントン州立大学工学部修士課程卒業。

1979年デュボンファアリースト日本支社（現デュボン株式会社）入社。エンジニアリングポリマー事業部長、アジア太平洋地域リージョナルディレクターなどを経て、2006年日本人の代表取締役社長、本社コーポレートオフィサーに就任。2013年同社代表取締役会長兼デュボンアジアパシフィックリミテッド社長。2014年〜2016年3月まで同社名誉会長を務める。

